レッスン：SPA99

テーマ：シンボルとそれらの意味

SPA99/KE02/JA02

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光そして火の子供達よ、私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

前回のレッスンでは創造の元型を構成するすべてのセンターを象徴するシンボルについて分析しました。それらのセンターに、およびそれらのセンターをつなぐ道に特定の色を与えましたが、実際にはそれらの色はそれらのセンターを示す最終的な色ではない、ということも話しました。

　また創造の元型は４つの主なパートに分けられますが、しかし現在のパーソナリティーにとって非常に大きな役割を担うのは元型のなかの下の２つのパートである、とも話しました。

　さて今私たちは小宇宙的にではなく、中宇宙的に、そして大宇宙的に話していきます。なぜなら小宇宙的に、つまり肉体に関しては、この元型の全ての部分がその役目を果たしています。なぜなら、この元型は肉体を維持し、存在させているからです。この元型なしには、肉体は存在し、人間のイデアと類似した形を取ることはできないでしょう。

また太陽神経叢には五芒星と14芒星があると言いました。このセンターの2つのシンボル以外にも、身体全体を取り囲んでいるシンボルがあります。つまり私たちを取り囲んで守っている大きな五芒星の他に、14芒星のなかにも五芒星があります。

　なぜでしょうか？最初の転生の時から、14芒星はパーソナリティーに付き添っています。どれでしょうか？太陽神経叢にある小さな14芒星、それとも大きな14芒星でしょうか？五芒星についても同じことが言えます。各転生においていつも同じなのはどれでしょうか？その方向にパーソナリティーを引き寄せているのはどれでしょうか？

　さて最初の転生の時から毎回ずっとパーソナリティーに付き添っているのは、身体および大きな五芒星をも包んでいる14芒星です。太陽神経叢における五芒星および14芒星はその回の転生だけのものです。今生において、一つの人生においてパーソナリティーが様々なステーションを経なければならないのは、この14芒星です。そして五芒星についても、そこにある五芒星はその特定のパーソナリティーだけのものです。生まれた時の身体全体（それは勿論アークエンジェルによって創造されたものですが）は、大きな14芒星のなかに含まれています。

様々なエクササイズのために…部屋の中または様々なタイプのピラミッドのなか…私たちは五芒星または14芒星を身にまとう必要があるのです。なぜなら、実際にそれが人間としての私たちのヒポスタシス（＊状態）だからです。私たちは常にそれらのシンボルによって取り囲まれており、それらのシンボルのなかにいるのです。勿論、私たちはそれを認識していませんが、実際にそうなのです。

それでは自己実現した現在のパーソナリティーにとっては、そのパーソナリティーを取り囲んでいるのはどのシンボルでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーは五芒星の中、あるいは14芒星のなかにいるのでしょうか？どう思いますか？

他のレッスンで言いましたが、自己実現した現在のパーソナリティーは、上から2番目の長方形のセンターに到達します。そのポジションは小宇宙的にはハートのセンターに相当し、六芒星のシンボルがあります。勿論、その自己実現した現在のパーソナリティーを包んでいるシンボルの一つは今やそのシンボルなのです。そのシンボルは現在のパーソナリティーに、主が提供するLifeのそれらの特質の現れを与えます。そのシンボルは上向きと下向きという2つの三角形からできています。自己実現した現在のパーソナリティーが実際には主からの助けを人間に与える時には六芒星というシンボルを身にまといます。

Page2

他のシンボルは重要ではありませんが、しかし自己実現した現在のパーソナリティーが転生のサイクル内に留まって助けるために他の人々のように働く時には、そのときにはその現在のパーソナリティーは五芒星と14芒星を伴いますが、その時には14芒星は異なった意味を持つようになります。前と同じ意味ではありません。しかし現在のパーソナリティーは特定の仕事を果たすために様々なステーションを経なければなりません。14芒星はそのパーソナリティーを、助けを必要とする他のパーソナリティーとつなぐためにだけそこにあるのです。そして実際、前に述べたと思いますが、その時14芒星は身体を取り囲むのではなく、頭の上にあるのです。

　前は14芒星と五芒星は身体を取り囲んでいて大きなものだったが､今や小さくなっている、と言うかもしれません。そうです、前は大きかったのです。なぜならそのパーソナリティーは多くの経験を経なければならなかったからです。しかし、今はもはや必要ありません。自己実現した現在のパーソナリティーにとって14芒星が行う唯一の役目は、自己実現した現在のパーソナリティーと助けを必要とする他のパーソナリティーをつなぐことだけです。それによって助けを必要とする人々の痛みを軽減することができるように。

前回のレッスンで述べたように、パーソナリティーはそれら全てのシンボルを即座に視覚化できなければなりません…時間をとって少しずつ視覚化するのではなく。同じように、パーソナリティーは五芒星、純白の五芒星によって守られているのを、あるいは過去に与えられたいかなるエクササイズでも視覚化できる必要があります。

　ですから、即座に純白の五芒星のなかにいる自分を見、あなたの身体に形と存在を与えている創造の元型を即座に活性化できる必要があります。同時に14芒星のなかにいる自分を見るのです。繰り返しますが、これがあなたのヒポスタシスです。部屋のなかであれ、様々なピラミッドのなかであれ、いかなるエクササイズを行う時にはあなたはこのヒポスタシスのなかにいる自分自身を見ることができる必要があります。

**レッスンSPA 99/エクササイズ１**

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白のなかの自分を見、自分の形の境界を感じます…あなたは純白の五芒星のなかで守られており、またあなたの身体の形と存在を維持している創造のセルを、説明された詳細どうりに見ます…同時に五芒星と14芒星のなかにいるあなた自身を見ます…いまそのようなあなたのヒポスタシスがあります…

　あなたは今、現在のパーソナリティーの部屋にいます…4つの壁から来る異なった色を見ています…14芒星も部屋のなかにあります…その先端、頂点は部屋から突き出てはいません…下向きの先端も部屋からは突き出ていません。あなたはどこに立っているのでしょうか？あなたは五芒星のなかに立っていて、浮いてはいません…何かの上に立っています…ですから、今あなたはこのピポスタシスのなかで全ての色を見ています…正面の壁からは純白の色、右からは赤い色、背後からはホワイトブルー、左の壁からはウルトラバイオレットの色…

それでは四面ピラミッドにヒポスタシスを与えます…このピラミッドの頂点は少し部屋から上に突き出ています…しかしピラミッドのなかには14芒星があります…ですから部屋のサイズとピラミッドのサイズは、14芒星のサイズと同じです…今あなたは四面ピラミッドの各サイドからの輝きの色を見ていますが、それは部屋のそれと全く同じです…しかし部屋の壁からの光の色とピラミッドのサイドからの光の色を見分けることができます…

　次に三面ピラミッドのヒポスタシスを活性化しますが、しかし同時にあなたは部屋の中、四面ピラミッドのなかにいて、三面ピラミッドのなかにいます…そしてあなたの右側の壁から来る三面ピラミッドのホワイトピンクの光を見、また左側からのホワイトブルーの光を見、そして背後の壁から来る金色の光を見ています…

今あなたは五面ピラミッドのヒポスタシスをもたらし、この五面ピラミッドのなかにもいます…五面ピラミッドの各サイドの色は全て同じで、底辺に近い部分は鈍い白で、頂点に近くなるにつれて輝いています…そして勿論、五面ピラミッド、三面ピラミッドの頂点は一緒で部屋のなかにあります…四面ピラミッドのように部屋の外に突き出ていません…　　　　　　　あなたは今、部屋、四面ピラミッド、三面そして五面ピラミッドのなかにいて、同時にそれぞれのピラミッドの壁から来る様々な色を見ることができます…そしてあなた自身も完全にそのヒポスタシスにいます；そしてあなたが今その中にいるそれら全てのシンボルをマスターすることができるようになるステートに到達できることを願います。

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康をねがいます。あなたは主、絶対、主の聖性に抱かれています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**Q:**　銀色、そして真ん中は金色で…

**K：**全てのセンターは同じサイズで、テニスボールぐらいの大きさです。太陽神経叢のセンターはホワイトブルーです…ハートのセンターはホワイトピンク、しかしそのセンターの輪郭をかたどっているのは金色です。頭のセンターは純粋な金色です。そして中央の柱の両側に３つずつあるセンターの色は白です。

　シンボルに関しては、太陽神経叢の五芒星は白；14芒星は銀色、ハートのセンターの六芒星は金色です。そして六芒星のなかにあるもう一つのシンボルである十字はホワイトゴールド、またはプラチナ色です。

　頭のセンターについては、円は金色で、その中に金色の小さな三角形があります。円も三角形も同じ金色ですが、その三角形の縁は銀色またはプラチナの色をしています。

　次に実存の諸世界にいる人間を示す下向きの大きな三角形については､色はホワイトブルーです。

　次に上から2番目の長方形はホワイトピンクです。

その上の長方形については、そこでは特別なワークはしません。その色は無数の色の光のスパークです。そこは私たちがアプローチ不可能な領域なのでワークはありません。またその部分に相当する身体の部分もないので、元型のその部分に相当する身体の部分もないのです。

次は一番上の大きな三角形は金色で、センターも金色で、銀色またはプラチナ色で縁取られています。その他のセンターの色は既に説明しているので簡単だと思います。

人間のイデアから微細なそれ自身のスパークを投射している「モナド・スピリットセルフ」を示している7つの円（＊右肩のすぐ上）がありますが、同じ円がその下のセンターの三角形内の十字の上にあります。同じ円はその下のセンターのなかにもあります。

しかし、そのシンボル（＊黒い点のある円）が下に降りるのではありません。そのシンボルが下でもそれ自身を現しているわけではありません。このシンボルが現在のパーソナリティーというもう一つの現れを活性化しているのです。この下向きの三角形内ではLifeのステートはそれ自身を現していません…活性化されたものがLifeの波動のなかで一つにならない限りは。

**Q ：**五芒星は三面ピラミッドより大きいのですか？

K：それはより大きいという問題ではありません。両方とも底面は同じで、高さも同じです。三面ピラミッドの底面の背後の金色のサイドを形成している２つの角は、金色のサイドと平行している五面ピラミッドのサイド（＊後側）を形成している2つの角の外に突き出ています；それら2つの角とそのサイドの一部は五面ピラミッドの外に少し突き出ています。

三面ピラミッドおよび五面ピラミッドをマスターすること、それは四面ピラミッドをマスターするためにも必要なことです。なぜなら、最終的な習得（＊マスターすること）はこのサイクルを終えて次のサイクルに入る能力を現在のパーソナリティーに与えるからです。それは四面ピラミッドです。そのベースは五面ピラミッドですが、最終的習得は四面ピラミッドです、それゆえにその高さが重要なのです；そして三面ピラミッドはそれと全く同じでなければならないのです。そして頂点は部屋の中に収まっているべきなのです。

　五面と三面ピラミッドの頂点は部屋の中にあり、全く同じです。ですから部屋から頂点が突き出ている唯一のピラミッドは四面ピラミッドです。その理由は前に説明しましたが、現在のパーソナリティーが部屋の外にいる自分を見出すためです。

　底面には円はありません。円は想像上だけのものであり、三面および五面ピラミッドをマスターした結果として回転ピラミッドが生じ、それは一面ピラミッドつまり円錐形となるのです。それはつまり、Lifeそれ自体からより多くが表現され、意識としてのLifeが拡大し、より遠方までカバーすることができるということを意味します。

過去においてはテクニカルな方法として、蓮華座に座って一面ピラミッドを回転させるという努力が行われました。

Page5

**Q** ：私はあまりにも多くの説明でとても混乱しています。気づきの上昇は何か別だと思うのです、色だとは感じません。それ（＊色）は外側のものだと思います。

**Ｋ**：そうです、それは外側からのものです。しかし、これら全ての目的はパーソナリティーが徐々に少しずつこれら全てをそれ自身で現すことができるようになることです。いいですか、今あなたはそれが外側からのものだと思っていますが、しかしそれはまたあなた方各人の内側からでもあるのです。これは本当に努力です；これは既にあなた方のものである何かではないのです。あなた方は驚くことでしょう、ある日あなた方が目覚めると、それまで出来なかった何かを現しています…「自分は今自分が現していることを現しているのだろうか？」と。あなたは驚くでしょう。それは不可能だと思わないでください。なぜなら、それは可能だからです。しかしたくさんの努力をした人、気づきの上昇に向けて本当にワークした人、つまり一つのレッスンさえも見逃さなかった人；つまり他の興味を脇においてこの探求にフォーカスした人。そのような人が肉体的死という現象と共にこの波動から去り、他の波動にいる自分自身を見出した時です。そこでその人は何であれ今生で興味を持っていたことを行うでしょう。そうです、その人はエクササイズを行い、レッスンに参加します、そしてレッスンに参加する間、適切なガイダンスがあります；そしてそうすることによって全ては真のものとなります。なぜならパーソナリティーはもはや五感という境界のなかでセルフを表現しているわけではないからです。そして最大の収穫はそこにあるのですが、しかしそのための鍵はここにあるのです。

**Q：**それでは次の転生では私たちの体験を持ってくるのですか？

**K：**何であれあなたが獲得したものは失われません。それはあなたがそれらの体験を覚えているというわけではありませんが、しかしそれらを失うことはないのです。例えば、ここであなたが何かを教えられ、それを当然とは思わなくても受け取ります。それを基準、物差しとして受け取ります。また何らかの質問を生み出す何かとして。しかし、向こうの波動では、あなたはあなたが聞いたこと全てとは言いませんが、聞いたこと、学んだことをガイダンスのもとでそれをテストすることができるのです。こちらの世界ではあなたが聞いたことのなかのどれだけを自分自身でテストすることができるでしょうか？どれだけを？ですから、忍耐をもってください、あなた自身を過小評価しないようにしなさい。なぜなら、あなたの中には自分ではまだ認識していないたくさんの能力があるのです。また、何であれ聞いたことはあなたのなかに記録されています。あなたの中に、つまりあなたの潜在意識のマインドのなかに；そこにあって、それが浮上すべき時には表面に浮上してきます。

**Ｑ：**「あなたが死ぬ時に」と言いましたが、それがどのように起きるのか説明してくれますか？

**Ｋ**：例えば、私たちがここでレッスンを提供している時、助けというレッスンを提供している時にあなたは自分が空中に浮いているのを見出すかもしれません。何人ぐらいの人が浮いていると感じていますか？そこではあなたは浮き上がり、地球の表面上で起きていることを見ることができるでしょう、地上から離れた高さから。そこでは距離は問題ではなくなります。例えば、アメリカ、ニューヨークにいる自分を見出すかもしれません。あなたは「浮いている時、地上から離れて特定の地域の上を移動しているのを観察しなさい」と言われたら、この地球の表面、つまり地上で行われていることを詳細に観察することができます。いいですか、あなた方は現在でも睡眠中にこれを行っているのです。でもその時、あなたは自分をコントロールできず、意識に橋がかかっていません。橋がかかる、つまり肉体とサイコノエティカル体との間です。そこでは肉体をもっていません。存在と実存という2つのステートに橋をかける必要がないのです。

もしあなたがこの今の次元において本当に真剣な探求者なら、向こうの波動に行っても真剣な探求者であり続けるでしょう。そしてそこでも引き続きレッスンを受け続けることでしょう。そこでは時間というものは存在しません；境界を生み出す意味というものもありません。勿論、そこでもあなたはたくさんのイリュージョンを抱き続けるでしょうが、いいですか、あなたのイリュージョンがそこではリアルになるのです。実際に触れることができるようにリアルなものとなります。今この次元であなたのイリュージョンはリアルですか？中には自分の内側にたくさんの信念を造っている人もいるかもしれませんが、でもそれらは触れることができるほどリアルではありません。あなたはこの世界で自分のイリュージョンのなかで生きていますが、しかしそれらのイリュージョンは具体的ではありません。しかし、向こうの世界では本当にリアルになります。あなたのファンタジーもリアルになりますが、同時にあなたの気づきの上昇にとって非常に重要なものもリアルになるのです。こちらの世界ではそうではありません。

　ですから、いいですか、あなたの時間は無駄になることはありません。決して次のように考えるできではありません…「自分は一体何を成し遂げただろうか？何も進歩していない。もうやめよう」などと。何であれあなたが去ると、それはあなたから去るでしょう。

Page6

**Q：**時間の感覚を失うということ、時間が止まったように見える時、それでもたくさんのことを成し遂げるのですか？

**K：**そしてあなたはたくさんのことを成し遂げました。なぜなら、あなたの気づきは認識の異なったスピードで動いているからです。もしこの世界での五感を通じた認識よりも速いスピードであなたの認識が動いていると、勿論そこではこの世界のような時間の感覚はありません。時間という意味が失われるのです。

**Q：**それは永遠の現在ということですか？

**K：**全ては永遠の今です。それゆえに、あなたは自分の過去のすべての体験を見ることができるのです。どれほど多くの転生であっても、この世界での今の瞬間のように見ます。Lifeが動いているからでしょうか？それは動くということではありません。それを説明できる言葉がありません。今でも考える時には、五感を通じて体験を認識するよりもずっと速く考えが動きます。毎日の生活でいろいろなことを体験しますが、もしもっと速く動こうとしたら、何も体験できないでしょう。例えば、動いている車のなかにあなたが座っていたら、窓越しに外を見る以外に何を体験できるでしょうか？なぜなら、あなたは実際に外で行われているよりもずっと速く動いているからです。そしてまた、あなたは意識としては走っている車のように速くは動いていないからです。

しかし、もしあなたが意識として速く動いているなら、もっと多くのことを認識できるでしょう。そして勿論、もし空間の意味も克服することができるなら、意識の速い動きを通じて空間の意味を克服し、即座にどこか別の場所にいる自分を見出すことでしょう。これは実際、夢を見ている時に起きていることなのです。しかし、その人が物理的法則に気づいていないと、そのパーソナリティーは動きをコントロールすることができません；それゆえに出来事の連続の間に論理的なつながりがないのです…ある瞬間はある出来事にいるのに、次の瞬間は何か別のことをしている、というように。しかし、徐々にあなたの気づきが高まれば、夢のなかで出来事をコントロールできるようになります。そして毎晩夢の続きを見ることができるようになるでしょう。そして特にあなたが好きな出来事については、あなたはそれを創造することが可能となります。それがあなたの2番目の人生となることでしょう。そしてそれはこの人生よりももっと素晴らしく、またもっとリアルなのです；そこではお金も、食べ物も何も必要としません。

**Q：**転生のサイクルのなかにいる自己実現したパーソナリティーが現在のパーソナリティーとして生きている場合、それはどのようにワークするのですか？

**K：**しかし、そのような現在のパーソナリティーは自己実現のための様々な段階を経験するわけではありません。その場合､14芒星は自己実現したパーソナリティーと14芒星の様々なステーションを経験している人々とをつなぐ手段となります。つまり、自己実現したパーソナリティーは14芒星をマスターした結果として、人々を助けることができ、様々なステーションを経験している人々とコミュニケーションすることができるのです。これは（＊14芒星）シンボリズムとなっています。例えば最愛のお方はイバラの冠を被っていますが、それは他の全ての人間の痛みを軽減したり、背負うことができるのです。

勿論、自己実現したパーソナリティーがその特定の転生のために波動を下げ、人々の気づきを助けますが、その場合には普通日常生活においては五芒星を使います。

しかし、不可視のヘルパーとしては五芒星は使いませんが、守護のための乗り物として六芒星を使います。このシンボルの前では何も太刀打ちできません。つまり否定的な意味のある創造物はそれに太刀打ちできないということです。否定性のための唯一の乗り物は上下逆さまの五芒星ですが、それが否定的か肯定的かを認識するのはとても難しいことです…それがどのように動いているかを観察することができなければ。それは正面の一つの頂点で動いているのではなく、正面の2つの頂点で動いています。六芒星の前に立てるものは何もありません。なぜならそのステートでは否定的なものは何もないからです。それ以降、そこには意味はありません。

これら全てについては過去に分析してきました。そしてなぜそれらのシンボルが助けおよび守護のために必要なのかについて説明しました。それゆえに自己実現した人間はいわゆる乗り物と呼ばれるものを使って惑星から別の惑星へ、銀河から別の銀河へと移動するのですが、その乗り物とはシンボル以外の何ものでもありません。そして私たちはそれを乗り物と解釈するのです。

肉体を持たない自己実現したパーソナリティーは、たとえ守護のためのいかなる手段を使わなくても、どんな結果をも蒙ることはありません。しかし、肉体をもつ自己実現したパーソナリティーで不可視のヘルパーとして活動する人は、人間達を助ける時には自分を守るものが必要です。そして助けを提供する際には自らの波動を下げる必要があります。そしてエクソマトシス（＊意識的幽体離脱）のステートにいる間、何であれサイコノエティカル体が経験したものは、後に肉体にも影響が来ます。なぜなら、サイコノエティカル体と肉体がつながっているからです。そして結果を蒙る唯一の体は肉体です。

EREVNA SPA99KE02/JAN02